

週報

2000年12月24日 降誕前第1主日

クリスマス礼拝

巻21

39号

2000年度 教会主題

「主イエスに従う」

聖句 わたしの後に従いたい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしのため、また福音のために命を失う者は、それを救うのである。

マルコによる福音書 8章34節b-35節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 十字架の福音に従い、これを宣教する。
 3. 教会創立20周年記念を祝い、将来を語り合う。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

横浜市港南区港南台7丁目8-29

郵便番号 234-0054

電話 045-833-5323

F A X 045-833-6616

振替 00290-4-13994

牧師 秋吉 隆雄
伝道師 蕭藤 忠雄

分で決めて月々献げる、の三つです。故内藤協牧師は、教会形成に参与することが私たち自身の人間形成を約束すると力説しておられました。

日本のクリスチャンは礼拝をよく守り、聖書を真面目に学ぶ教会生活をしていると言われています。反面、教会から遠ざかる人もいますが、その人たちの挫折感や罪責感が希薄であるとも言われています。これは教会の責任でもあります。周りの状況に流され易いということでしょう。キリスト新聞によると、受洗者は増えているが、信徒総数は減って、人口の1%をかなり下回っています。召天者に加え、別荘会員への転籍が多いからです。また、牧師になる人が大きく減っています。日本では爆発的にクリスチャン人口が増えることは望めません。少数の「地の塩」として、世に対し「愛と平和と正義」を味付けするように求められていると受け止めたいと思います。

20世紀は、むき出しの欲望で突っ走ってきました。21世紀は「宗教の世紀」になると言う人がいます。超越する神と向き合い、人間の限界を認識することが大切であるという主張が込められていると思います。

◇牧師室より◇

クリスマス、おめでとうございます。20世紀最後のクリスマスをご一緒に迎えられることを心から感謝しています。私は、洗礼を受ける人、転入会する人にまず、「世の中の人」が言い、また自分でイメージしたクリスチャン像の『枠の中』に自分を押し込めないように。神はその人らしく生きるように『個々の生』を与えてくださったのだから、自分で納得のいくような生き方を求めてください。信仰は拘束や束縛ではなく、自由へと解放されることですから」と話しています。神信仰が私たちの「生」のあり方を指し示してくれると、私は信じています。

また、誓約の言葉に「教会の会員としてふさわしい生活をし」とありますが、これに関して三つのことを勧めています。① 礼拝を守るために日頃の生活を整える。② 教会の働きのために自分のしたい、またできる奉仕に加わる。③ 献金額を自